

部局名	子ども部	所属名	元気子ども課	所属長名	石塚 三男	電 話	483-1151 内線2260
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4126	事務事業名称	プレーパーク事業					短縮コード	経常		臨時	4126
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		☐ その他		根拠法令等	まっ白い広場（プレーパーク）づくりモデル事業費交付要綱 八千代市次世代育成支援行動計画						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
平成17年3月策定の「次世代育成支援行動計画」の重点施策に子どもや市民が行政と共に既存の遊び場や自然を利用したプレーパーク作りを検討することが掲げられていること、また、県立八千代広域公園計画事業地内の一部が利用可能になったことから、平成19年10月にプレーパーク事業を第3次総合計画に位置づけ、平成19年10月に市民公募を行い、市民・NP0・行政の協働事業とした。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして				
子どもの社会性・創造性を養う事ができる遊び場として、平成20年5月10日から週2回実施している。市民・NP0・行政の3者協働で、地域住民による事業運営が行われている。そのため、地域のつながりによる子育て支援が可能となっており、また、子どもが親以外の地域の大人とかかわることが出来る場にもなっている。オープン以来、年間利用者は5,000人を超えており、地域における子どもの居場所として、その役割はますます重要になってきている。今後は、事業運営や事業地の整備等について、ボランティア参加や協力体制を市内で構築していくことが必要と考える。						大項目（節）	02	社会福祉				
						中 項 目	01	児童福祉				
						小項目（施策）	02	児童の健全育成の推進				
						細 項 目	02	子どもの居場所の整備				
					実施計画の計画事業	1204	プレーパーク事業					
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成23年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 市民・NP0・行政の3者協働で、子どもたちが自然の中で「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを体験できる冒険遊び場として、プレーリーダー（子どもの遊びを見守り支える大人）を配置し、週2回土・日プレーパークを実施した。									
	※平成22年度に計画していること： 引き続き、事業運営や事業地の整備、市民研修について市民・NP0・行政の3者協働で実施する。									
意図 （何を狙っているのか）	プレーパークは子どもの社会性・創造性を養うことができる体験の場として、また、事業の運営や事業地の整備等については、市民・NP0・行政の3者協働による市民参加型で行う。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	市民（18歳以下の子ども）	人	33, 470	34, 470	34, 726	35, 026			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	プレーパーク開催日数	日	87	97	96	98			
	指標 2									
	指標 3									
成果指標	指標 1	プレーパーク利用市民（18歳以下の子ども）	人	3, 424	3, 600	3, 574	3, 700			
	指標 2									
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード		4126	事務事業名称	プレーパーク事業		所属名	元気子ども課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	2,909	0
		県	千円	2,000	1,000	1,000	1,000
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,673	3,214	240	3,223
		その他	千円	0	0	0	0
	主な事業費の内訳		講師謝金90千円 消耗品費218千円 手数料 89千円 委託料 3928千円 重機等借上げ料 69千円 工事請負費1184千円 備品購入費1095千円	講師謝金60千円 消耗品費130千円 食料費 26千円 手数料 64千円 保険料6千円 委託料3928千円	講師謝金60千円 消耗品費130千円 食料費 26千円 保険料6千円 委託料3928千円	講師謝金90千円 消耗品費130千円 食料費 9千円 手数料 64千円 保険料2千円 委託料3928千円	
	人件費 (B)		千円	11,482.6	11,038.3	5,603.7	5,595.2
トータルコスト (A) + (B)			千円	18,155.6	15,252.3	9,752.7	9,818.2

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	プレーパークは、子どもの健やかな成長のために既製の遊具を置かずに自然の環境を利用し、子どもの目線に近い立場で遊びに関わる大人（プレーリーダー）を配置して実施しており，上位の施策に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	同事業の状況や事業利用者の要望の変化が推測されるため。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	同事業地は、県立八千代広域公園事業予定地であり，市が事業主体として，県より無償借用しているため，民営化の可能性はない。				
有効性・ 効率性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
			☒ 現状のままでよい	同事業の状況や事業利用者の要望の変化が推測されるが，対象・意図により目的に結びつけることができる。				
			☐ 見直す必要がある					
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 現状のままでよい	同事業の状況や事業利用者の要望の変化が推測されるが，対象・意図により目的に結びつけることができる。				
			☐ 見直す必要がある					
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 見直す必要がある					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☒ 現状のままでよい	同事業の状況や事業利用者の要望の変化が推測されるが，対象・意図により目的に結びつけることができる。				
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 現状のままでよい					
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ 現状のままでよい	同事業の状況や事業利用者の要望の変化が推測されるが，対象・意図により目的に結びつけることができる。				
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 現状のままでよい					
			☐ 現状のままでよい					

コード	4126	事務事業名称	プレーパーク事業			所属名	元気子ども課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続		地域における子どもの居場所としてその役割はますます重要になってきていることから、利用者からは開催日の増加や事業の継続を望む声が多く寄せられている。そのため、事業の運営や事業地の整備等について、市民ボランティアの参加や市内の子育てサークル等との協力体制を構築していく必要があると考える。 また、国の放課後子どもプランの補助金を活用し、週末の子どもの居場所として展開し、NPO，市民力の向上を図る。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			子どもの社会性・創造性を養う事のできる遊び場として実施しており，子どもの遊びを支えるプレーリーダーの配置等が必要と考えているためコストは不変である。 また，国の補助金を活用しながら，週末の子どもの居場所として展開し，市民ボランティアを強化する。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☒	☐	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
利用者からは，開催日の増加や事業の継続を望む声が多く寄せられている。 また，決算審査特別委員会委員からは，「子ども会等の団体から平日に利用したいという要望があるが，利用はできるか」という意見があった。	

所属長コメント	NPO法人・市民と協働し地域の大学等の協力も受け，引き続き子どもの健全育成のため子どもの居場所として活用して参りたい。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	事業の安定した継続と，開催日の増加を図るため，課題解決に努め，市民の協力を得て，順次推進すべき。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		